

ファーストペンギン通信

第14号
発行日
令和2年9月25日（金）
発行人
八王子実践中学校
中学部長 石川敏史

中学教科担当の先生紹介

遅くなりましたが、F.P.の紙面を使って紹介していきます。先生方からコメントをもらいました。

中学1, 2, 3年 体育

熊田 隆一



藤原 幸音



鍋島 光次



体育では3学年合同で行い、現在はハンドボールを行っています。1年生から3年生ま

で全員で行いますので学年を超えてコミュニケーションをとることが出来ます。日頃の

授業では、個性豊かな男子生徒や運動神経の秀でた女子バレーボール部員など様々な生徒達が全員協力し合って授業を行っています。

元気いっぱいでも良いと思います。1年生とも仲良く活動できています。

生徒の声

早く、試合をさせてください。

中学3年社会（公民）

久保 溪大



「裁判とは？」「保険とは？」「クレジットカードとは？」…大人でも説明に悩む社会の仕組みを、週に4時間一緒に勉強しています。ニュースを見ていて分かる内容が増えたとの声もあり、みんな頑張っています。ご家庭でも「社会」についてぜひお子さんとお話ししてみてください。

生徒の声

わかりやすい。おもしろい。話の内容がすぐに公民に移っていく。「ほいっ」など謎の言葉が使われます。

ファーストペンギン通信第13号で、実力テストについてお話ししました。今まで学んだことがどのくらい定着しているかを確かめるために実力テストを受けるという趣旨だったと思います。

今までは、教えられたことを定着させることがいちばん大切であると考えられてきましたが、これからの世の中を考えたとき、AI技術が格段に進み、今ある職業のうち半分

10月19日実施の中学総合学力調査とは

以上はなくなるとか言われて久しくなります。

つまり、生徒の皆さんが社会に出て、自分で稼ぎ、自立しなければならなくなったとき、予想もできない社会が待っているのです。経験したことのない課題にぶつかり、他の

人々と話し合いながら課題を解決していく力が必要となります。教えられたことを、ただ定着させるだけでは不十分なのです。

まずは自分で考え（＝思考力）、正しい判断ができ（＝判断力）、そしてその考えを

他の人に説明できる（＝表現力）力が必要になります。

そのような考えに基づいて、本校も学力推移調査だけでなく、そのような力を測ることのできる「中学総合学力調査」を実施します。

事前準備シートもお配りし

ます。その中には、解答ポイントの確認も伝えられています。「ある国際大会の開催地の選択」という例題が載っているの、必ず自分で解いてみてください。

実際のテストでは、国語、数学、英語、教科融合の4教科で、情報を収集し、考察を加え、問題解決に導く力を測ります。解決した内容を表現する力も試されるのです。